

週刊大貫のり夫

市政ファイル No.515

日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告

発行日：2016年3月9日（水）

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6



岩崎ひろし議員が予算関連質問

感震ブレーカー設置補助が拡充に

横浜市議会では2月26日、予算関連質問が行われ、岩崎ひろし議員が日本共産党を代表して質問しました。

防災・災害対策

継続的に取り組み

岩崎議員は、防災・災害対策について継続的に議会で質問してい

感震ブレーカーとは

阪神・淡路大震災と東日本大震災で起こった火災のうち6割以上が電気が原因といわれています。強い地震の時に電熱器具等から出火したり、また電気復旧時に断線した電気コード等から出火して、地震による被害を大きくする危険があります。

感震ブレーカーは、設定値以上の揺れを感知した場合に、ブレーカーやコンセント等の電気を自動的に遮断する器具です。

感震ブレーカーには、分電盤タイプ(3~8万円)、簡易タイプ(3~4千円)、コンセントタイプ(1か所5千円程度)などがあります。

ます。今回は、家具転倒防止対策助成事業と感震ブレーカー等設置推進事業は、それぞれ対象数が10万、34万と万単位なのに、事業規模はそれぞれ200件、400件にすぎず、危機対応力の強化に要する経費全体が軒並み減額していると指摘しました。

(2面に続く)

無料法律相談

4/7・21(木)

予約制 (大貫)
090-5311-1879

みどり税徴収の一方で緑の破壊とは

栄区の上郷地区の宅地開発は、約10ヘクタール、横浜スタジアムの約10倍という大規模な緑地・農地を住宅地などに改変するものです。この地区の緑地保全を求める11万を超える署名が横浜市に提出されています。

岩崎議員はみどり税を徴収する一方で、緑を大規模に破壊する上郷開発を容認することは、緑地保全を求める市民の願いを裏切ることになる、都市計画決定手続きを中止し、当該土地を市が買い取ることが最善だとして、市長の見解をただしました。

(1面より)

防災学習に参加した方が感震ブレーカーを設置したいと区役所に問い合わせたところ、申請受け付けは締め切られ、お知らせチラシもないと言われたことを紹介し、「これでは、感震ブレーカー設置が大事と言っているだけで、対策は大後退」と批判しました。



質問する岩崎のり議員
11月26日、横浜市本会議場

林市長は、上郷開発計画は、周辺市街地との一体性の強化が図られ、高齢化などの将来を見据えたバランスに配慮した計画で、正しい判断であると述べました。

そして、「災害の未然防止に係わる事業については、ふさわしく予算の拡充が必要。家具転倒防止や感震ブレーカー設置事業などは、申請数が予算の規模を超過した場合でも、追加予算で対応すべき」として、市長の考えをただしました。

林文子市長は、2016年度の感震ブレーカーの補助は、個人を対象とした分電盤タイプの補助に加えて、自治会町内会を対象とした単位タイプの補助を実施するとともに、申請件数が予定件数を越えた場合はできるだけ設置できるように柔軟に対応すると答えました。



ちょっと法律の話とか(16)

東電旧経営陣の起訴

まなぎいすたろう
弁護士 馬奈木 巖太郎

福島第一原発事故をめぐる検察審査会の起訴議決を受け、検察官役の指定弁護士が、東電の旧経営陣3人を東京地裁に強制起訴しました。

3人が問われる業務上過失致死傷罪は、業務上必要な注意を怠り、その結果、人を死傷させた犯罪。この罪が成立するには、3人が事故当時の原発の責任者として、原子炉の安全性を損なうなど人命を危険にさらすことがないよう適切な対策を講じるべき「注意義務」に違反した、との事実が認められることが必要となります。それを立証し有罪となるには、①大地震による津波で全電源を失い事故が発生すると具体的に予見できたか(予見可能性)、②事故を予見できたとして、事故を防ぐことができたか(結果回避可能性)の両方について、合理的な疑いを挟む余地がないほどの立証が行われる必要があります。「疑わしきは被告の利

益へ」という原則から、「灰色」は無罪となります。

この点で、検察官は「灰色」として二度にわたり不起訴処分としてきました。しかし、検察審査会は、「原発に関わる責任者は『万が一』に備えるべき高度な注意義務を負う」としたうえで、地震の専門家らが2002年にまとめた「長期評価」に基づく津波試算などから「3人が大津波を予測し、事故を回避できたのに対策を取らなかった」と判断しました。長期評価などの知見に、事故を防ぐために無視できない信頼性があったのかが争点の一つとなります。

事故からまもなく5年。すでに提訴されている民事訴訟に続く今回の起訴。事故がなぜ起こり、なぜ防げなかったのか。多くの国民が抱く疑問に答え、二度と同じ被害を繰り返さないための裁判となることが求められます。

日本共産党演説会

4月2日午後2時から

青葉公会堂ホール

弁士 斉藤和子衆議院議員

あさか由香参院神奈川選挙区予定候補

椎葉かずゆき比例代表予定候補

詳しくは日本共産党青葉区委員会902-6540



新市庁舎新築工事契約可決

次世代に過度な負担679億円

新市庁舎新築工事請負契約の締結の議案が2月24日、これまで建設に反対してきた維新の会が賛成に回ったのをはじめ、賛成多数で可決されました。契約金額679億円、相手は竹中・西松建設共同企業体です。東京オリンピック開催に間に合わせるため無理に無理を重ねた結果、事業費が2013年秋の基本計画の約616億円から10%アップしました。

日本共産党は、このまま異常に高額な事業費を支出していけば、将来世代に過度な負担を強いることとなるとし、また、現在の庁舎が手狭で立て替えが必要だとするならば、現庁舎を利用した立て替えも含め、費用負担が少ない手法で時間をかけ慎重に検討すべきとして、今回の新市庁舎建設工事請負契約に反対しました。

そもそも、なんで東京オリンピッ



新市庁舎完成予想図
＝横浜市ホームページより

ク開催に間に合わせる必要があるのでしょうか。現庁舎は耐震補強工事をしたばかりです。

林市長は2期目の市長選挙の際、自民党の支持を受けるために、これまで慎重だった態度を変え、東京オリンピックに向けて新市庁舎建設積極推進の立場に豹変したのです。



メダカの独り言 家の裏手に黄色が鮮やかなミモザの花が咲くと、春が来たことを感じる。今年は暖冬だったから、春が来るのも早いのか。花見の準備もそろそろ始めなくては。ゆっくり春を楽しみたいが、夏も直ぐにやってきそうだ。(K)